

NICUはNeonatal Intensive Care Unitの略で、新生児（生後1ヶ月未満の赤ちゃん）の集中治療室のことです。早産児（在胎三十七週未満で出生した赤ちゃん）や低出生体重児（体重が二千五百g未満で出生した赤ちゃん）を中心に、島医大付属病院には県内の周産期医療の中心となる総合周産期母子医療センターがあり、ここに県内最大・最新のNICUがあります。

そこでは、超低出生体重児と呼ばれる出生体重千g未満の子や、先天性心疾患や消化器疾患のため新生児期に手術を要する子などの治療も行っています。



福島医大付属病院のNICU

NICUはNeonatal Intensive Care Unitの略で、新生児（生後1ヶ月未満の赤ちゃん）の集中治療室のことです。早産児（在胎三十七週未満で出生した赤ちゃん）や低出生体重児（体重が二千五百g未満で出生した赤ちゃん）を中心に、島医大付属病院には県内の周産期医療の中心となる総合周産期母子医療センターがあり、ここに県内最大・最新のNICUがあります。

います。そのため、呼吸数や心拍数、血圧などを監視するモニター、呼吸を助ける人工呼吸器や酸素供給システム、黄疸（おうだん）に対する光療法の機器、速度を微細に調整できる輸液ポンプ、保育器などの機器が整備され、NICU専門のスタッフが二十四時間態勢で赤ちゃんの命を守っています。特に、超低出生体重児は全てが未熟です。温度や湿度を保つ感覚防止に努めながら、呼吸循環、消化器、代謝などを慎重に管理する必要があります。急性期を

子どもと女性の 健康相談室

70



福島医大付属病院総合周産期
母子医療センター 講師
郷 勇人氏

赤ちゃんを守る治療室

乗り切り全身状態が安定したら、なるべく早くご両親に赤ちゃんを抱っこしてもらうカンガルーケーを行なっています。周産期医療は日進月歩であります。一九八〇年

アを行い、親子の絆を強めてもらっています。周産期医療は日進月歩であります。一九八〇年から人工呼吸器療法が普及し新たな治療薬が開発され、また、地域におけるNICUの整備と広域（福島県の場合は全県的）な周産期医療ネットワーク体制の確立による重症度に応じた役割分担により、低出生体重児の救命率が著明に向上しました。

次回は2月21日掲載

ふくしま子ども・女性医療支援センター

<http://www.fmu.ac.jp/home/fmccw/>